

第2章 「めざす子どもの姿」を実現するための重点

重点目標⑤ 就学前教育の充実

生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期であることから、「生きる力」「共に生きる力」の基礎となる力を育成します。



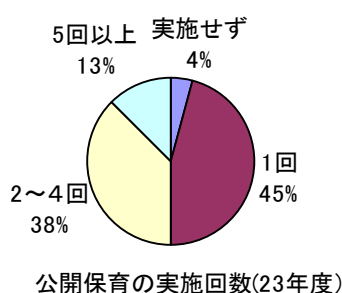
1 遊びを通しての「学び」の充実

◆ ねらい

幼児の自発性、好奇心などを重視した遊びや体験を通し、生涯の生活の基礎となる教育を展開し、「生きる力」「共に生きる力」の基礎を育成します。

取組指標	現状値 (平成23年度)	目標値 (平成27年度)
遊びを通して「学び」の充実に係る 公開保育の実施回数	96%の園が 1回以上実施	各園1回以上

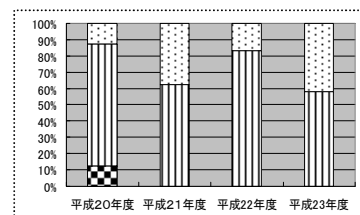
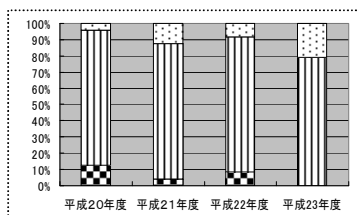
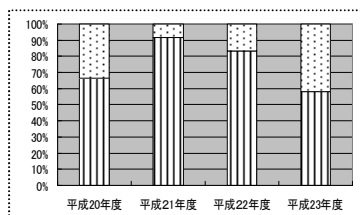
◆ 現状と課題



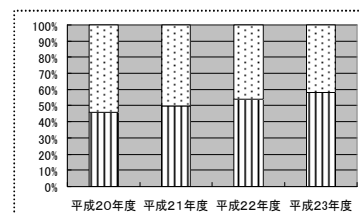
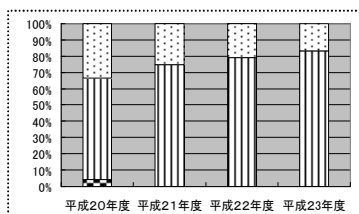
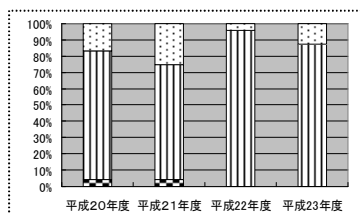
幼児の遊びを充実させるための研修については全園で積極的に進めています。公開保育を行うなかで教師のかかわりや環境構成について見直し、事後の研修で、幼児期にふさわしい環境とは何か、遊びを通しての学びの重要性などの研修を進めています。学びの連続性（幼保・小・中との連携）も大切にした研修も進めていますが、取り組み指標である公開保育の実施回数の目標を達成していない現状もあり、今後も充実した研修を進めていきます。

○ 平成23年度の市内教職員のアンケート結果(24園)

Q1：一人一人の幼児の特性に 応じた指導の工夫を行ったか。 Q2：幼児期にふさわしい生活を展開 できる環境構成の工夫を行ったか。 Q3：身近な人や環境とのかかわり を重視した保育を行ったか



Q4：道徳性の芽生えを培うための 指導を行ったか Q5：基本的な生活習慣、社会生活上 のルールなどの定着を図ったか。 Q6：健康・体力向上のための 指導を行ったか。



A 十分 B おおむね十分 C やや不十分 D 不十分

重点⑤ 就学前教育の充実

- すべての項目について、十分、おおむね十分といった教職員のアンケート結果となっています。特に、昨年度までは、Q2 の環境構成の工夫について自分の研修に対して課題意識を持っていた職員も、具体的な公開保育の中から学んだ部分も多く、自分たちの研修内容に満足したという結果になっています。

◆ 今後の方向性

- 一人一人の幼児の特性に応じた指導の工夫や環境構成の工夫によって、園での活動が幼児の発達にとって、より一層意味のあるものにしていくことが必要です。全職員が幼児の成長のために共通認識し、具体的な課題をもって教育実践に取り組みます。
- 道徳性や規範意識を高めるためには、家庭と共に進めていく教育が必要になってきます。集団生活のなかでの具体的な場面を通しての指導はもちろんのこと、家庭との連携を深めながら、教育に取り組んでいく必要があります。
- 健康で安全な生活習慣や態度の育成をめざし、戸外遊びや運動遊びの充実など、心身共にたくましく育つよう取組を継続的に進めます。
- 教師の専門性を一層高め、遊びを通して幼児同士がかかわりあう機会をもち、集団のルール等を学んだり、集団の中で個を発揮することで、幼児が遊びの充実感を味わうことができるよう取り組みます。
- 幼稚園教育を更に充実させるとともに、保育園や小学校との連携を深めて、段差のない教育の取組を進めます。

◆ 主な取組状況

- 幼稚園での食育活動の取組について
健康な心と体を育てるためには食育を通じた望ましい食習慣の形成が大切です。このことを踏まえ、幼児の食生活の実情に配慮し、和やかな雰囲気の中でみんなと同じものを食べる喜びや楽しさを味わったり、様々な食べ物への興味・関心を持ったりすることで、進んで食べようとする気持ちが育つようにしています。
平成20年度から、家庭弁当を基本とした週1回デリバリー方式の給食が導入され、更に平成23年度より週2回実施になりました。幼児の給食は、安心・安全で栄養バランスのとれたもので、家庭の食育支援にもつながっています。教師は、衛生管理・給食への研鑽に励み、食育の充実を図っています。
- 幼稚園での特別支援の取組について
特別支援教育についての取組では、教師一人一人が資質向上を目指した研修を積み、園内研修も充実してきました。また、教育支援課や保育園と共に、就学前教育における特別支援教育のあり方について、研修を深めます。

2 子育て支援の充実

◆ ねらい

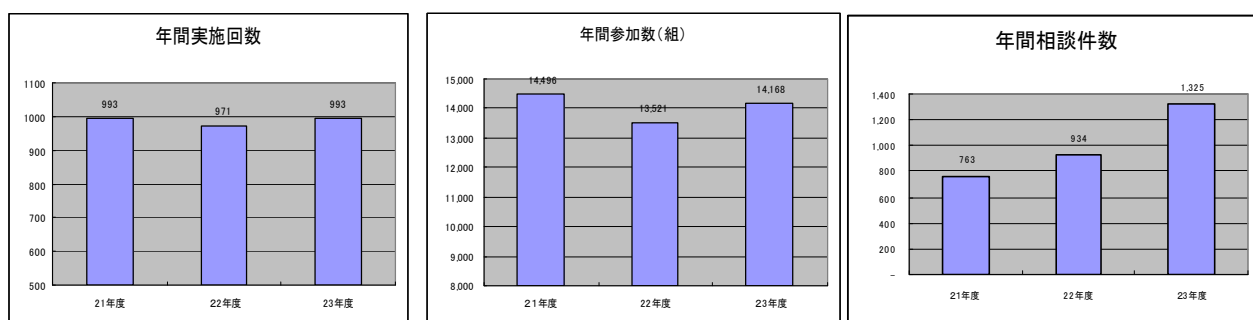
安心して子育てができるよう家庭と地域との連携を深め、幼児の生活を創造する子育て支援の場を設定します。

取組指標	現状値 (平成23年度)	目標値 (平成27年度)
園ホームページによる教育活動や子育てに関する情報提供の頻度	平均 10日に1回程度	週1回以上

◆ 現状と課題

園での生活や地域との連携のなかでの園児の様子を中心に各園のホームページで発信しています。情報提供の頻度については、週1回以上実施達成は25%の園にとどまっています。家庭・地域との連携をより図っていくためにも、今後とも積極的な情報発信に努めていきたいと考えます。

○ 平成23年度公立幼稚園における子育て支援（遊び会）の状況



- 保護者アンケートの結果からは、回数・内容・活動指導員の配置共に高い評価を得ています。回数についてはもう少し増やしてほしいという要望が寄せられています。今年度3歳児対象の遊び会を実施した園が18園に増え、活動内容をより一層充実できるよう工夫しています。
- 相談回数は増える傾向にあり、遊び会が活動指導員や職員に安心して話ができる場となっています。
- 各園の活動指導員は年間2回の研修会を行い、資質向上に努め、遊び会の充実を図っています。

◆ 今後の方向性

- 子育ての喜びや楽しさを感じ、安心感と自信をもってわが子と向き合えるために、幼稚園・家庭・地域がともに幼児の充実した生活を目指し、園づくり活動指導員の配置を継続して行い、内容の充実にも努めます。
- 各幼稚園では、地域の幼児教育のセンター的な役割が果たせるよう、情報発信に努め、子育てや教育の相談に積極的に応じていきます。そして、保護者同士の交流・子育てについて学ぶ場としての在り方を工夫していきます。

重点⑤ 就学前教育の充実

◆ **主な取組状況**

○ 塩浜幼保一体化園について

集団教育を円滑に実施できる園児数（集団）を確保するために、幼児の発達を踏まえた就学前教育の一貫性を図ることが大切であると考えています。

塩浜地区では乳幼児の減少に伴い、幼稚園児と保育園児を同じ就学前の幼児として、幼保一体化園（愛称 塩浜みどり園）での保育を実施しています。開園して6年目となりました。

○ 市民活動団体が行う子育て支援事業について

地域住民が主体となって子育て支援運営委員会を設置し、地域住民の民主的な運営により子育て支援活動を行っています。

現在、下野地区（平成14年度から）と富洲原地区（平成15年度から）で実施されています。

平成23年度公立各幼稚園における子育て支援（遊び会）の状況

	幼稚園名	実施曜日と回数				時間	年間実施回数	年間参加数(組)	年間相談件数	登録者数(組)
		全体		3歳児						
1	四日市	毎週(水)	月4回	毎月第3(火)	月1回	10:00~11:30	51	806	316	92
2	橋北	毎週(水)	月4回	毎月第2・4(火)	月2回	10:30~11:30	44	750	263	54
3	富田	毎週(水)	月4回	毎週(木)	月4回	10:00~11:30	60	834	43	82
4	海蔵	毎週(木)	月4回	毎月(火)	月2回	10:00~11:30	39	449	29	98
5	納屋	毎週(水)	月3回	毎月第2(火)	月1回	10:00~11:30	40	452	3	58
6	泊山	毎週(水)	月3回		2回	9:30~11:00	27	950	11	139
7	内部	毎週(木)	月3,4回	毎月(金)	月2回	10:00~11:30	40	901	4	113
8	川島	毎週(水)	月4回			10:00~11:30	39	910	20	122
9	神前	毎週(水)	月4回	毎週(木)	月3回	10:00~11:30	77	446	3	44
10	三重	毎週(木)	月4回	毎月第2(月)	月1回	10:00~11:30	41	898	30	78
11	保々	毎週(金)	月4回	9月より毎月(水)	月2回	10:00~11:30	49	419	23	51
12	下野	毎週(月)	月4回			10:00~11:30	32	612	17	69
13	羽津	毎週(金)	月4回	月末金,第2水	月2回	10:00~11:30	45	516	25	90
14	富洲原	毎週(火)	月4回			10:00~11:40	45	580	49	51
15	高花平	毎週(水)	月4回	毎月第2.4(金)	月2回	10:00~11:30	48	263	34	26
16	大矢知	毎週(金)	月4回	12月より	月1回	10:00~11:30	30	378	16	68
17	八郷中央	毎週(木)	月4回	毎月第2・4(火)	月2回	10:00~12:00	48	424	121	89
18	桜	毎週(水)	月4回			10:00~11:30	33	608	9	70
19	常磐中央	毎週(火)	月3~4回			10:00~11:30	25	1,329	166	202
20	塩浜	毎週(木)	月4回			9:30~11:30	39	330	12	53
21	笹川中央	毎週(金)	月4回	11月より毎水曜	月4回	10:00~11:30	40	236	3	34
22	三重西	毎週(水)	月4回	毎月(月)	月1回	10:00~11:30	40	399	29	43
23	楠北	毎週(水)	月4回			9:30~11:30	31	848	38	80
24	楠南	毎週(木)	月3回			9:30~11:30	30	225	61	31
平成23年度合計							993	14,563	1,325	1,837

3 幼保小の連携の充実

◆ ねらい

学びの一体化の一層の推進のため、幼稚園と保育園、就学前教育と小学校教育の連携及びその充実を図ります。

取組指標	現状値 (平成 23 年度)	目標値 (平成 27 年度)
スタートカリキュラムの活用に関する担当者研修会の実施回数	年 2 回実施	年 2 回実施

◆ 現状と課題

幼保小中11（15）年間の子どもの育ちをふまえ、学びのあり方に目を向けた教育実践が展開できるよう、学びの一体化研修における連携の充実が進められています。各中学校区における現状に合わせ、今後は行事として交流していた幼保小の連携を小中の学びへ生かすことが重要です。

◆ 主な取組状況

○ 幼保及び小学校との合同研修の充実

小・中学校間で実施される授業公開等に加え、幼稚園や保育園の実践について、教職員交流のみでなく保育の様子を実際に見合い、検討する校区が増えました。平成 23 年度から学びの一体化担当者研修会に公立保育園の職員も参加し、研修の目的を共有することができました。

* 第 2 回担当者研修会・・・早稲田大学小林宏己教授の講演「幼保小連携の意義」

* 第 3 回担当者研修会・・・幼保小連携部会から実践事例発表・連携資料の提供

○ 幼保小が連携した教育活動の実践

幼保小の円滑な接続を意識した教育活動や子ども同士の交流が進んでいます。小学校生活科の取組に園児を招待したり、入学前には小学校体験や給食体験が行われたりしています。幼保小連携部会からは幼保合同で授業づくりをした実践指導案を学びの一体化担当者研修会で提供しました。

○ スタートカリキュラムの作成・実施

小1プロブレムの解消に向けたスタートカリキュラムを検討しています。平成 23 年度は「つながりシート（就学前の実践と小1の実践を列記できる比較資料）」が完成し、一部校区で活用されました。

○ 今後の就学前教育のあり方についての検討

学びの一体化推進委員会において、幼保小連携部会からの提案内容を検討しています。平成 23 年度は「幼稚園における教育環境（小学校での学びにつながる環境整備を写真等で示した資料）」を資料提供でき、幼稚園教育についての理解を深めることができました。



◆ 今後の方向性

就学前教育における学びを生かした具体的な連携について、その意義を校区で共有し、各校区における連携プランが確立されるよう進めていきます。